

Google for Education のご紹介と最新情報



スチュアート・ミラー
Google for Education
マーケティング統括部長
アジア太平洋地域





教育現場での利用に最適な共有可能な端末

4,000万台

Google Workspace
for Education



働き方改革と主体的・対話的な学びが可能に

1.7 億人

GIGA スクール構想



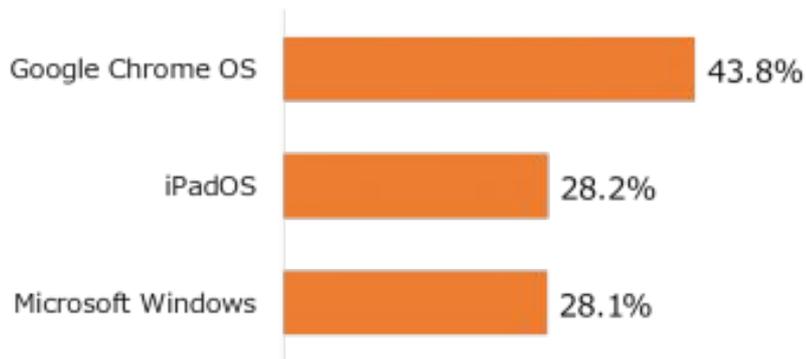
Google
for Education



ひとりに1台。つながる授業を当たり前。

GIGA スクール構想：調達・導入端末の OS 状況

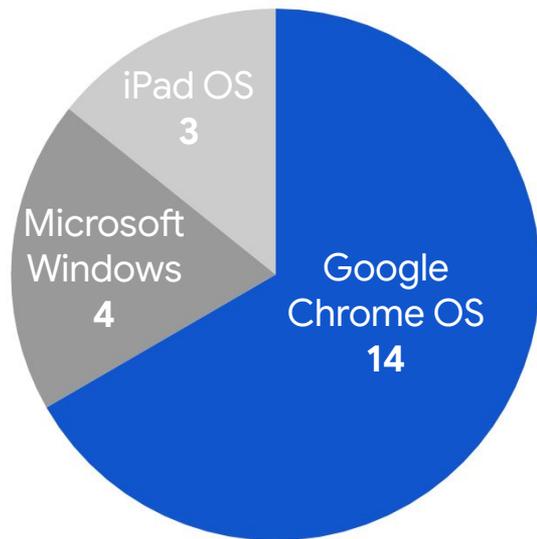
端末OS	台数 (台)
Google Chrome OS	3,278,110
iPadOS	2,107,935
Microsoft Windows	2,101,357
合計	7,487,402



※四捨五入の関係で、構成比の割合は100%とはならない

©2021 MM Research Institute, Ltd.

GIGA スクール構想: 3OS 評価項目のトップ獲得数

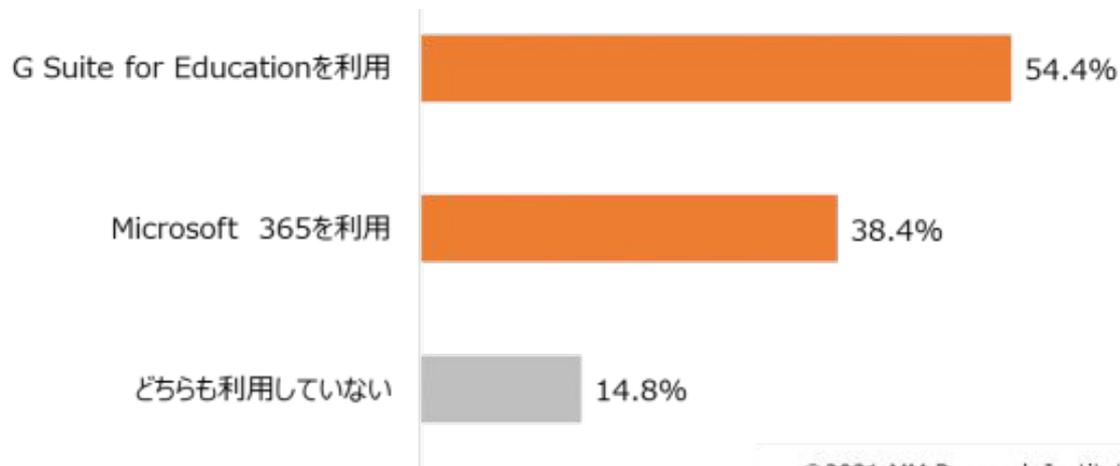


【データ2】 3OSの評価結果詳細(※全評価項目に回答した75件から算出)

No		点数 (各評価項目は50点満点)		
		Google Chrome OS	Microsoft Windows	iPadOS
1	授業中の利用における利便性	39.5	37.3	41.5
2	端末からの物理的な接続環境への対応	35.8	40.9	34.1
3	ユーザービリティとアクセシビリティ	37.7	37.0	41.1
4	協働学習・コミュニケーションツール	39.5	36.9	38.1
5	クラウドフィルタリング	37.7	36.7	37.3
6	ファームウェアセキュリティ	40.2	38.0	39.3
7	セキュリティアップデート	41.7	35.8	36.5
8	教員および管理者研修	38.7	38.0	38.1
9	データ漏えいリスクを考慮に入れているか	40.5	36.9	39.0
10	アカウント管理	40.2	36.5	34.9
11	端末管理	39.8	35.9	36.9
12	端末初期設定	40.3	35.8	36.3
13	端末障害時の対応のしやすさ	39.3	36.9	35.9
14	アプリケーションの管理、配信	39.7	36.3	38.9
15	教育アプリケーション連携	37.2	39.3	41.8
16	利用状況の把握	36.6	35.1	34.9
17	拡張性	36.0	38.2	36.0
18	既存データ資産との連携	34.0	44.0	35.5
19	端末に選択肢が潤沢にあるか	38.6	39.4	35.3
20	BYODで低コスト運用が可能か	37.8	34.0	33.3
21	運用コストへの配慮	40.5	35.2	33.6

©2020 MM Research Institute, Ltd.

GIGA スクール構想:クラウドサービスの利用状況



©2021 MM Research Institute, Ltd.



大学の活用事例

Google for Education

「コンフリクトを乗り越える」プロジェクト学習 正解のない学習のなかで見えた、 1人1台環境の価値とは？

教育現場では今、1人1台環境の実現に向けてICT環境の整備が進められています。では、1人1台環境を活かすためには、どのような学びが必要でしょうか。また1人1台のメリットを活かしてどのような学びが可能になるでしょうか。東京大学の研究チームが「Google Workspace for Education (以下、Google Workspace)」を使って取り組んだ、「1人1台環境だからこそできるプロジェクト学習」を紹介します。



Google for Education

プログラミングによる「創造的な学び」と 教科学習の両立は可能か？ MIT & 東大が、共同研究で授業のデザイン原則を 導き出す

新しい学習指導要領では、小学校のプログラミング教育について、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものと規定しています。しかし、教科学習の枠に終始しては、「子どもたちの創造性を引き出すことができる」というプログラミングの可能性が活かせません。教科学習と「創造的な学び」は授業の中で両立することが可能でしょうか。この課題に対して、マサチューセッツ工科大学メディアラボ (以下、MITメディアラボ)、東京大学の研究者が、授業のデザイン原則を導き出す研究授業に取り組みました。



Google for Education

**東京大学**
The University of Tokyo

東京大学大学院 情報学環
東郷文彦本館7F目3-1
<http://www.iui.u-tokyo.ac.jp/>

・教材対象
東京大学大学院 情報学環
教授 松平 氏
特任講師 池沢 良平 氏

**関西学院千里国際高等部**
大阪府箕面市小野原西4丁目4-16
<https://www.kwansei.ac.jp/sis>

・教材対象
関西学院 千里国際高等部
教諭 米田 謙三 氏

Google for Education

マスプロ授業が内包する課題を 「Google フォーム」の活用で解決 慶應 SFC が実践する アクティブ ラーニングの ベスト プラクティスを確認する

最先端の情報インフラを活用した先進的な授業が展開される慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパスにおいて、2019年4月から新たなアクティブ ラーニングの取り組みが開始されました。約600名の学生を対象に、単なるインプットではない「考える」授業を実現した「公共哲学」です。成功の鍵となったのはICTツール「Google フォーム」。その経緯を慶應義塾大学 大学院 政策・メディア研究科 教授の鈴木 寛氏にうかがいました。



Google for Education

Google Classroom と Google Workspace for Education で教師と学生それぞれの作業を効率化 独自のアプローチで効果的な教育 ICT を模索する 岡山大学 山川 純次氏の取り組みが目指すものとは

全国屈指の広大なキャンパスを、未来を担う学生たちが行き交う岡山大学では、2019年に「鉱物結晶学実験」を開講し、Google for Education のソリューションを活用したアクティブラーニングが実践されました。この講義を作り上げた岡山大学 理学部 地球科学科 山川 純次氏に、Google Classroom (以下、Classroom) と Google Workspace for Education (以下、Google Workspace) を導入したきっかけや特徴的な活用方法、得られた成果と今後の展望などについてお話をうかがいました。



**Fujisawa**

**慶應義塾大学**
湘南藤沢キャンパス
神奈川県藤沢市藤原5322
<https://www.sfc.keio.ac.jp/>

略して「SFC」と呼ばれる湘南藤沢キャンパスは、「総合教育」「環境教育」「専攻課程」の3学部と、「教育メディア」「健康マネジメント」の2研究科が揃っています。敷地面積は約10万坪、最新の設備と豊かな自然が調和する空間で、充実したキャンパス・ネットワークシステムにより、学生、教職員間の活発なコミュニケーションが図られています。

**Okayama**

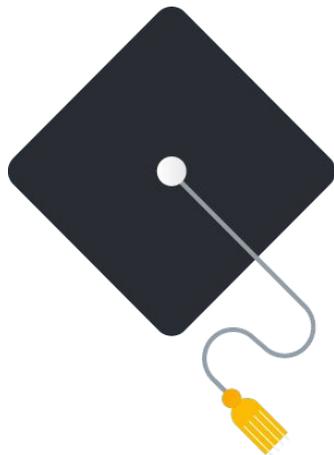
**岡山大学**
岡山県岡山市北区区津島中1-1-1
<https://www.okayama-u.ac.jp/>

1949年、東葉の岡山福医学部をはじめとする歴史ある高等教育機関群によって総合大学として創立。2020年に教育学部は創立150周年を迎えます。現在、11学部、3研究科、32研究科、大学病院、そして附属学校園を擁し、岡山市中心部の広大なキャンパスに約2万人の学生、留学生、教職員が在籍します。

**Chrome プラウザ対応機種**
28台
学生用・教員用

Chrome プラウザ 1年 使用
Google Workspace for Education 1年 使用

edu.google.com



Thank you.